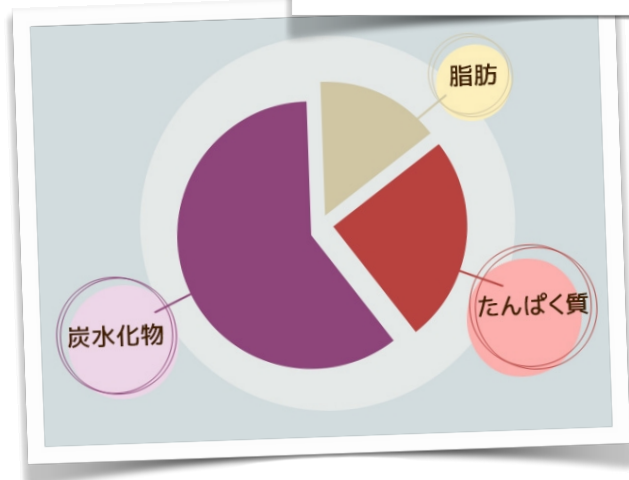


飼い主さんがペットの健康を守る
犬猫にとって必要な栄養バランスとは
necessary nutrients



ドライフードと水だけで良い。

simple is best

なぜなら、獣医師・研究者たちが
確かな研究に基づいた栄養設計で開発しているから

Point1.子犬は1日3-4回に分けて、便の様子を見ながら制限しないこと

Point2.目安はあくまで目安、個体差・飼養環境・気温によって異なる

Point3.ドライフードは歯石が付きにくい、ウェットフードは付きやすい



犬猫はエサを咀嚼しない、飲み込む動物です。

Point1-成犬・成猫までは骨、内臓、皮膚をしっかりつくる為、エサを制限しないこと。
但し、嘔吐や下痢があるときは量が多い、エサが合わない場合があります。

Point2-個体差によって必要な給与量も異なります。人間で例えるなら、兄弟で体格も異なれば食べる量も違うのと同じです。飼養環境も、外で飼うのと室内で飼うのとでは消費カロリーも変わってきます。気温にいたっては、冬は夏の1.5~2倍食べないと体温を保てません。

Point3-口頭でお伝えした通り、犬猫は裂肉歯=飲み込める大きさにしたら、飲み込みます。ウェットフードのように口腔内に残るものは、歯に付着し歯垢となり歯石になります。

その子に合うフードを飼い主さんに寄り添い、提案したいと考えています。